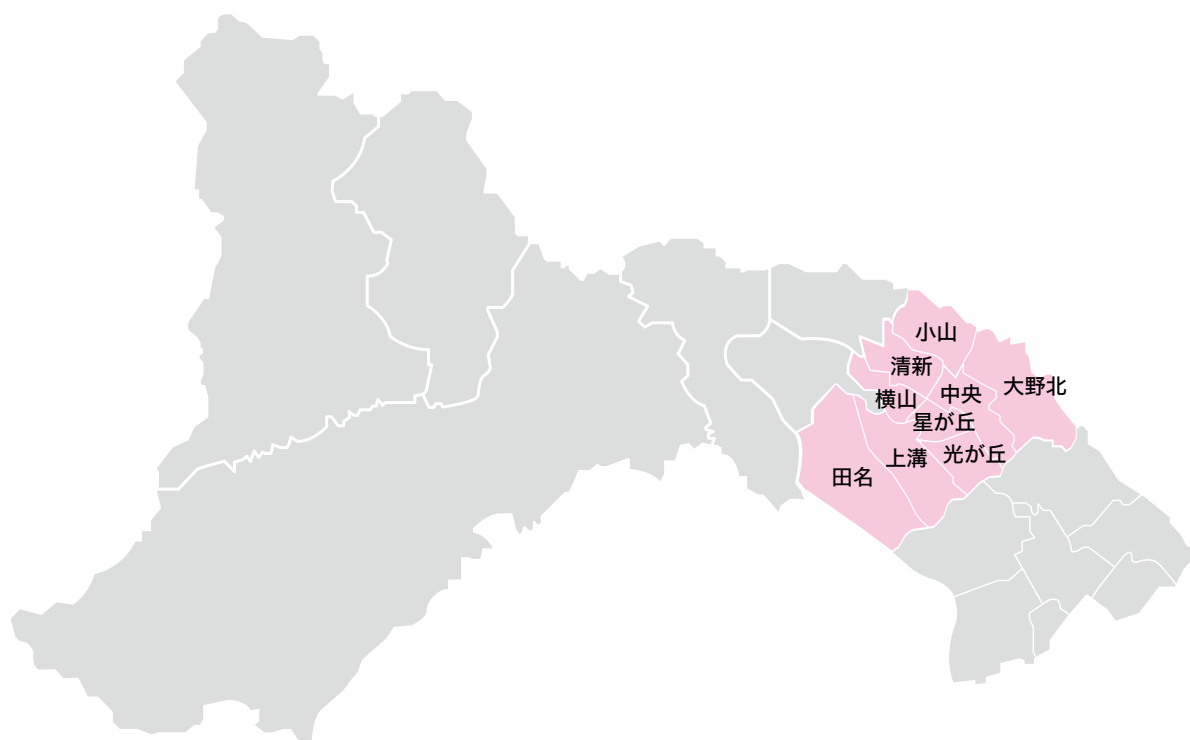




中央区 基本計画



序論

構基本
想本

計基本
画本

I

II

III

IV

V

VI

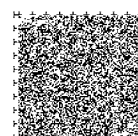
テ重点
マ点

緑区

中央区

南区

資付
料属



中央区の概況

1 位置・地勢

中央区は、本市の東側に位置し、北部は町田市に、南部は愛川町、厚木市に接しており、9つの地区から構成されています。総面積は、36.87平方キロメートルで、市域（328.91平方キロメートル）の11.2%を占めています。

中央区が位置する相模原台地には相模川の東岸に河岸段丘が形成されています。

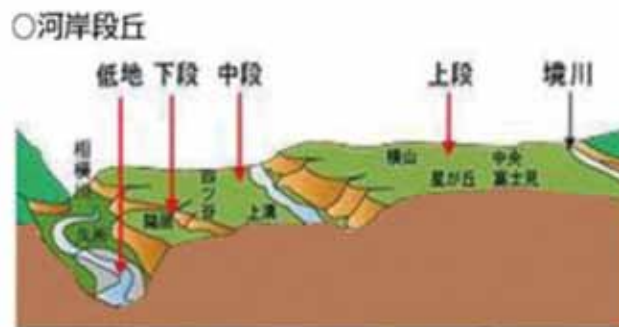
この段丘は、「上段」「中段」「下段」の3つに分かれており、上段の相模原面が最も広く、小山・清新・横山・中央・星が丘・光が丘・大野北の7つの地区が位置しています。

また、中段には、上溝地区が、中段から下段にかけての地域には、田名地区が位置しています。

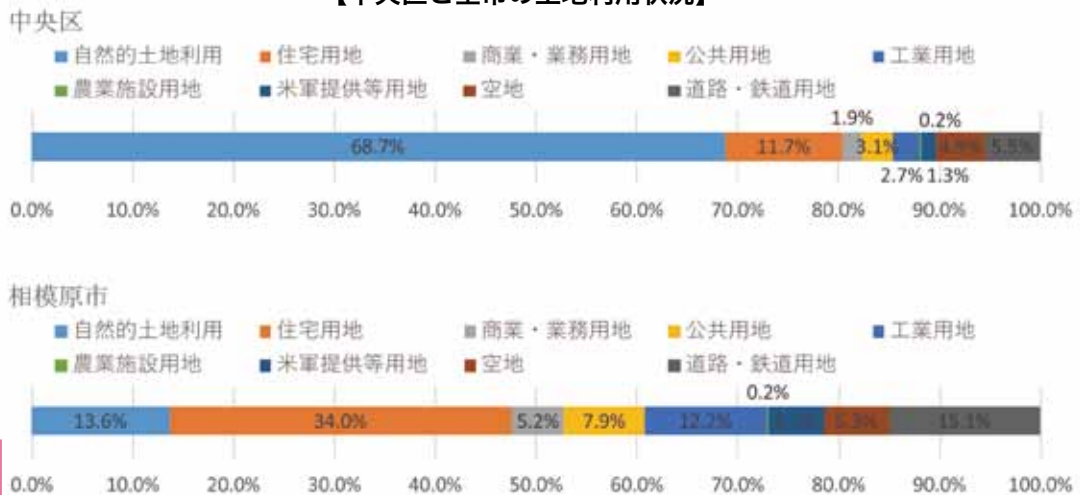
2 土地利用状況

中央区は、市役所、税務署、裁判所など市や国の主要な機関が立地しており、行政の中心となる地域です。また、首都圏のベッドタウンとして早くから開発され、「宅地」や「商業・業務」などの都市的土地利用が86.4%を占め、3区の中で最も高くなっています。

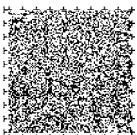
また、JR相模原駅北側に広がる相模総合補給廠は区域の5.3%を占めており、計画的なまちづくりを進めていく上で大きな障害となっています。



【中央区と全市の土地利用状況】



資料) 平成27 (2015) 年都市計画基礎調査より作成 (相模総合補給廠一部返還などを反映)。

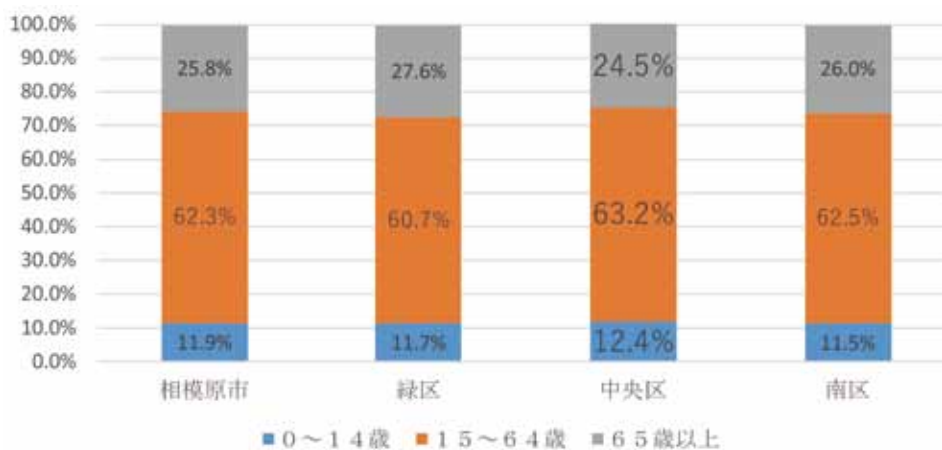


3 人口、世帯、年齢構成

中央区の人口は、平成31（2019）年1月1日現在、271,965人で、本市の人口722,863人の37.6%を占めています。世帯数は、平成31（2019）年1月1日現在、121,420世帯で、本市の世帯数323,587世帯の37.5%を占めています。

平成31（2019）年1月1日現在の年齢3区分別の人口割合をみると、年少人口（15歳未満）が12.4%、生産年齢人口（15歳から64歳まで）が63.2%、高齢者人口（65歳以上）が24.5%であり、他区と比較すると年少人口の割合が最も高く、高齢者人口の割合が最も低くなっています。

【年齢構成】



序論

構基本

計基本
画本

I

II

III

IV

V

VI

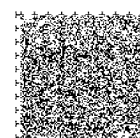
テ重点
マ点

緑区

中央区

南区

資付
料属



中央区の現状と課題

1 子ども・教育

(1) 子育て、教育

核家族化の進行やスマートフォン、オンラインゲームなどの普及により、親子や子ども同士が顔を合わせて会話する機会が減っています。中央区では、子ども自らが継続的に地域活動に関わる取組や子ども食堂など、子どものつながりの場を設けるための取組を進めていますが、以前からある子ども会・育成会などは減少傾向にあります。

また、共働き世帯やひとり親家庭の増加により、放課後に子どもが安心して過ごすことができる場の充実が求められています。さらには、近年増加している外国にルーツを持つ子どもが、安心して学ぶことができる教育環境を整えることも求められています。

(2) 生涯学習、社会教育

中央区では、公民館などの学習施設の稼働率が全体的に高い傾向にありますが、利用者が利用する時期や時間帯、世代に偏りが生じています。

このため、既存施設の有効活用や、多世代交流による学び合いの場の充実など、誰もが学びを楽しむ環境づくりが求められています。

2 共生・健康

(1) 福祉、高齢者、貧困

中央区における高齢者人口（65歳以上）の割合は、24.5%（平成31（2019）年1月1日現在）であり、令和9（2027）年には27.2%となる見込みです。

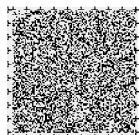
また、地域における人と人とのつながりの希薄化が進んでいるため、ひとり暮らし高齢者や生活に困窮する人、貧困の連鎖などにより生活に課題を抱え支援を必要としている方が地域で孤立する状況が生じています。

このため、誰もが地域社会との関わりを持つきっかけとなり、地域住民同士がつながりを深められる集いの場をつくるなど、地域で共に支え合う環境づくりが求められています。

(2) 人権・男女、障害者、国際化

人権に関する法令の整備や施策の充実により、人権意識の高まりが見られるものの、依然として、性別や年齢、国籍、障害の有無などを理由とする偏見や差別など、様々な課題が存在しています。

このため、一人ひとりがお互いの人権を尊重し合うとともに、異なる文化や習慣を持った人々がいきいきと活躍できるまちをつくっていくための取組を推進する必要があります。



(3) 健康、医療

中央区では、自主的なグループによる「ラジオ体操」や「いきいき百歳体操」などの健康づくりや、介護予防のための取組が行われています。

誰もが健康で安心して暮らしていくため、こうした取組を地域全体に広めていけるよう支援するとともに、区民自らの健康について相談できる「かかりつけ医^{※3}」等を持つなど、安心して医療を受けることができる体制の充実が求められています。

3 安全・安心

(1) 防災

近年、大地震による大規模な災害の発生が懸念されています。地区防災計画の策定や地域の防災意識の高まりにより、区民による自主的な防災活動は進んでいますが、防災資機材の整備状況や自主的な訓練の実施状況などについては、地域によってばらつきも見られます。

また中央区には、流量の多い相模川、住宅地を流れる境川や鳩川などの河川があり、台風や集中豪雨に伴う河川の氾濫による被害が心配されます。

災害に備えるため、自助・共助の取組の重要性などについて、区民の理解を更に深めながら、自発的な防災対策の促進を図ることなどにより、地域全体の防災力の向上に取り組む必要があります。

(2) 交通安全、防犯、空き家

中央区（相模原警察署管内）における平成30（2018）年の交通事故発生件数は1,041件で5年前の平成25（2013）年の件数（1,265件）に比べて減少しているものの、自転車が関係する事故（全体のうち31.5%）や高齢者の事故（全体のうち31.8%）の割合が依然として高い状況が続いています。国による自転車レーン^{※4}などの整備が進められていますが、自動車の駐停車により自転車レーンがふさがれていたり、自転車が交差点でも一時停止しないなどの状況があることから、自動車・自転車利用者の交通ルールの順守やマナーの向上を図る必要があります。

高齢者の事故では、高齢者が加害者となる事故が増えており、高齢ドライバーに対する対策が急務となっています。

防犯灯のLED化や防犯カメラの設置、登下校時の児童・生徒への見守り活動など、区民の防犯意識は高まっており、平成30（2018）年の刑法犯認知件数は1,735件で5年前の平成25（2013）年（2,613件）と比べて減少傾向にあります。

しかし、自転車の盗難被害件数が高い水準で推移しているほか、高齢者を対象とした振り込め詐欺の被害件数も増加していることから、地域や関係団体、警察と連携し、防犯意識の向上のための啓発活動をはじめとした取組を一層進め、地域の犯罪抑止力の向上を図る必要があります。

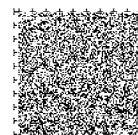
また、適正に管理されていない空き家などが増加し、地域住民の生活環境に影響を及ぼしていることから、空き家などの適正管理に対する意識を高めるとともに、空き家の利活用などについて、地域と連携し、協働して取り組む必要があります。

※3 【かかりつけ医】

身近な地域で日常的な治療を受けたり、健康の相談などができる医療機関のこと。

※4 【自転車レーン】

道路交通法（昭和35年法律第105号）により指定された普通自転車専用通行帯。



4 活力・交流

(1) 商業、観光、農業

中央区には、複数の鉄道や路線バスが運行しており、駅周辺には商業施設が集積しています。

一方で、幹線道路沿道などへの大型店の出店やインターネット通販の普及により、買物の仕方も変化し、個人商店の減少や商店街の衰退などが課題となっており、あらゆる世代が楽しめる商店街づくりなど、暮らしやすいまちづくりが求められています。

また、中央区には、本市を代表する桜の名所である市役所さくら通りや、相模川などの豊かな自然が存在するほか、「上溝夏祭り」や「相模原納涼花火大会」など魅力的なイベントが多く開催されています。そのほか、宇宙航空研究開発機構（JAXA）^{※5}や市立博物館、相模川ふれあい科学館など、最先端の宇宙科学や相模原の歴史・自然を楽しく学べる施設も多数存在しています。これらの資源を生かした、中央区ならではの観光振興を含めた魅力の創出が求められています。

農業に関しては、新鮮で安全・安心な食材としての地場農産物への消費者ニーズが高まっており、区民が農業を身近に感じられる都市農業の振興が求められています。

(2) 基地返還、拠点形成、道路、交通

中央区は、相模総合補給廠一部返還地における新たなまちづくり、小田急多摩線の延伸計画等に加え、隣接する橋本地区へのリニア中央新幹線の駅の設置予定など、広く区内外から人が集まる交流拠点として発展するポテンシャルが高まっています。

また、買物などでの移動が困難になる高齢者が増加することが懸念されており、気軽に外出できる移動手段の維持・確保が課題となっています。

(3) 文化、スポーツ、国際化

中央区の魅力として、市役所さくら通りなどの桜や、身近に宇宙を感じることができる宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国内最古といわれる約2万年前の建物跡が発見された国指定史跡田名向原遺跡などがあります。

各地域においても、「上溝夏祭り」や江戸時代中期から続く「番田の神代神楽」、各地区のふるさとまつりなど、歴史のある行事が行われています。一方で、こうした中央区の魅力を知らない、地域への関心が薄い区民も少なくありません。

また、祭りなどの行事を主催する各地域では、活動を支える人材の後継者不足などにより行事の実施が困難な事例もあり、地域文化の継承が課題となっています。

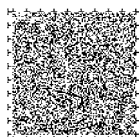
そのため、地域の文化やスポーツなどの活動を通じて、区の魅力についての情報を区民に対して発信し、地域への関心を高めていくことが求められています。

外国人住民の増加が進む中、地域住民と外国人住民の交流の機会を通じて、互いに異なる文化や習慣を理解し、活力ある地域社会を形成するための取組が求められています。

※5 【宇宙航空研究開発機構（JAXA）】

平成15（2003）年に宇宙科学研究所（ISAS）、航空宇宙技術研究所（NAL）、宇宙開発事業団（NASDA）の3機関が統合して誕生。政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関と位置付けられ、同分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行っている。

〈引用元〉宇宙航空研究開発機構（JAXA）ホームページ



5 環境

(1) 環境保全、都市緑化、生物多様性

中央区は、河川や丘陵緑地など、豊かな自然に恵まれている地域があり、そうした自然に親しむ取組を行っています。

一方で、川遊びや散策などにおいて、自然に接する際に配慮を欠くと環境に負荷がかかることもあり、そのような環境への影響が課題となっています。

(2) 地球温暖化、廃棄物

各家庭においてごみの減量化・資源化意識が高まり、平成23（2011）年度には544グラムだった市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量が、平成29（2017）年度には494グラムとなり、減少してきているものの、家庭から排出されるごみの中には、資源化が可能な紙や容器包装プラスチック等が多く含まれている状況があります。

ごみの減量化・資源化を更に進めるためには、環境への負荷に配慮したライフスタイルへの転換など、「4R」の推進やごみをできるだけ少なくする生活への意識づけが必要となっています。

6 都市経営

(1) 参加・協働、区政（分権）

地域における人と人とのつながりの基盤となっている自治会の加入率低下が課題となっています（平成31（2019）年4月時点の中央区の自治会加入率50.39%）。このことから、自治会への加入促進に取り組むとともに、地域活動の担い手の育成、誰もが気軽に集い交流できる場の創出などにより地域活動の活性化を進め、区民と地域とのつながりを深め、まちづくりへの参画意識を醸成することで、地域コミュニティの活性化に取り組む必要があります。

(2) 行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント

複雑・多様化する区民ニーズや地域の課題解決に迅速に対応するため、区民にとって身近な区役所の機能の充実が求められています。

また、中央区には公民館など多くの公共施設がありますが、老朽化や人口減少社会に対応するため、公共施設の効果的な利活用や維持・管理の検討を進める必要があります。

序
論

構
基
本

計
基
本

I

II

III

IV

V

VI

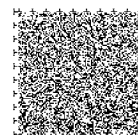
テ
ー
マ
重
点

緑
区

中
央
区

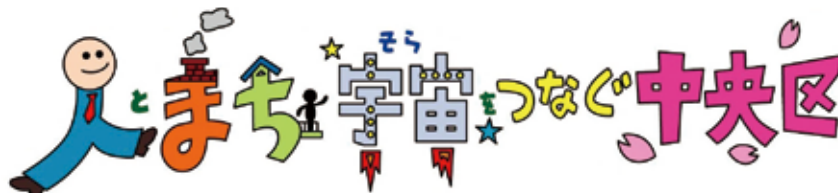
南
区

資
付
料
属



中央区の目指す姿・取組目標

中央区の目指す姿



～多様性を大切にするまちを目指して～

私たちのまち中央区は、様々な魅力や個性を持った人々、活力ある産業や文化、身近な自然など、多くの地域資源にあふれる区です。

これから迎える人口減少社会にあっても、これらの地域資源の多様な価値を大切に、心豊かで、いきいきと、にぎわいあふれる、安全・安心なまちをつくるため、私たちは中央区の目指す姿・取組目標として、次の6つを定めます。

I 健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている

子どもが心豊かにいきいきと育つよう、地域、家庭、学校の連携を深めています。人々との絆が深まり、地域や家庭で子どもの健やかな成長を見守っています。誰もが自ら学ぶことができ、学ぶ人同士のつながりが、更にお互いを高め合っています。

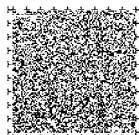
II 自分らしく、いきいきと暮らしている

性別や年齢、国籍、障害の有無などにかかわらず、全ての人が尊厳を持って自分らしく、自立した生活を送ることができていて、困ったときはお互いに支え合いながら暮らしています。

III 安全・安心をみんなで創っている

区民と区役所や消防が連携した防災訓練や自主防災活動が活発に行われ、自助・共助・公助による防災意識が高まり、地域の防災力が向上しています。

安全で住みやすい地域社会の実現に向け、地域・関係団体・警察・区役所の連携が一層強化され、地域ぐるみで交通安全活動・防犯活動が行われています。



IV 魅力と活力にあふれ、にぎわっている

相模総合補給廠一部返還地における新たなまちづくり、小田急多摩線の延伸計画に加え、隣接する橋本地区へのリニア中央新幹線の駅の設置予定等を見据えたまちづくりが進み、にぎわいの創出に向けた夢が広がっていると同時に、快適で便利な暮らしやすいまちづくりが行われています。

区民の誰もが桜や宇宙航空研究開発機構（JAXA）、大学などの中央区の魅力を発信することで、新たな出会いと交流が生まれています。

V 豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる

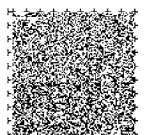
身近な自然と共生した、持続可能な循環型のまちづくりが進んでおり、豊かな環境を次世代へつなぐことができます。

VI わたしも、あなたも、誰もが輝いている

区民みんなが地域に関心を持ち、それぞれの個性を生かして、それぞれのスタイルで地域活動に関わっており、地域と地域を支える全ての人々が輝いています。

※ 「人とまち、^{そら}宇宙をつなぐ中央区」

人、まち、中央区の持つさまざまな地域資源がつながり、未来に向かって大きく広がる宇宙のように、人々が夢と希望を持って暮らすことのできるまちを創り、子どもたちへつないでいきたい、という思いが込められています。



取組の方向

中央区の目指す姿・取組目標 I

健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている

■取組の方向 I - 1

子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます

【子育て・教育】

安心して子どもを生き育てることができ、子育てを楽しく感じることができるよう、子育て支援の充実を図るとともに、全ての子どもの健やかな成長を地域全体で支援するまちづくりを推進します。

また、子どもが、豊かな人間性を持った大人へと成長していくため、自らを大切に、他人を思いやる心を育む教育を推進するとともに、地域及び家庭の教育力の向上を支援します。

【重点的な取組】

(子育て支援)

- 地域住民と交流し、相談することで子育てに対する不安を解消し、安心して子どもを生き育てることができる環境づくりを進めます。

(取組の方向と SDGs の関連)



(子どもの健全な育成環境の充実)

- 子どもの居場所、遊び場づくりを進め、子どもが健やかに伸び伸びと育つことのできる健全な育成環境をつくりまします。

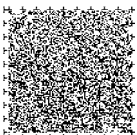


(教育環境の充実)

- 全ての子どもにとって、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境づくりを進めます。



冒険遊び場（銀河の森プレイパーク）



■取組の方向 I - 2

誰もが学びを楽しめるよう取り組みます

【生涯学習・社会教育】

区民が、自らを成長させ、豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じて学ぶことができ、その成果を住民同士のつながりや地域の活性化に生かすことができる環境づくりを、公民館などを拠点に地域全体で進めます。

【重点的な取組】

(生涯学習、社会教育の支援)

◎様々な世代の区民が「いつでも」「どこでも」「誰でも」学ぶことができ、学びを通じて得た成果をまちづくりにつなげることで、更に学びが深まるよう支援します。

※◎は区役所が中心となって行う取組

(取組の方向と SDGs の関連)



序論

構想
基本

計画
基本

I

II

III

IV

V

VI

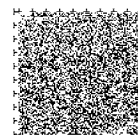
重点
テーマ

緑
区

中央
区

南
区

資
料
属



自分らしく、いきいきと暮らしている

■取組の方向Ⅱ－1

全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます

【福祉、高齢者、貧困】

共に支え合う地域づくりを進めるとともに、高齢者の集いの場や活躍の場づくりに取り組みます。

【重点的な取組】

(地域ネットワークの充実)

- 人と人の支え合いのネットワークを充実させ、様々な悩みや不安に対して包括的に支援できる、誰もが暮らしやすいと感じるまちづくりに取り組みます。

(取組の方向と SDGs の関連)

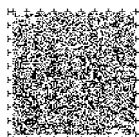


(高齢者の社会参加支援)

- 退職後の活動の場やひとり暮らし高齢者の集いの場づくりに取り組むとともに、高齢者が社会に参加し活躍することで、笑顔があふれるまちづくりを進めます。



お太助 Car (光が丘地区)



■取組の方向Ⅱ－2

多様な人々が自分らしく活躍できるよう取り組みます

【人権・男女、障害者、国際化】

ユニバーサルデザインが浸透し、障害等への理解や人権教育・人権啓発、多文化共生が進んだ、誰もが自分らしく活躍できる社会づくりに取り組みます。

【重点的な取組】

(人権の尊重と男女共同参画社会の実現)

○誰もが個性と能力を十分に発揮することができるとともに、地域で女性が活躍できる環境の充実に取り組みます。

(取組の方向と SDGs の関連)



(バリアフリー環境の充実)

○誰もがいきいきと暮らせる、バリアフリー環境が充実した福祉のまちづくりに取り組みます。



(多文化共生の推進) ※取組の方向Ⅳ－3再掲

○異なる文化や習慣を理解し、お互いを地域の仲間として尊重し合うことで、外国人も地域づくりに参画するまちづくりに取り組みます。



※◎は区役所が中心となって行う取組

■取組の方向Ⅱ－3

健康長寿に取り組みます

【健康、医療】

健康に対する意識を高め、自ら行動する、区民主体の健康づくりを推進します。

また、超高齢社会にあっても、区民が住み慣れた地域で安心して生活できるための地域医療体制の充実に取り組みます。

【重点的な取組】

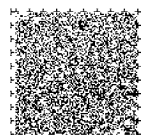
(健康増進活動の推進)

○区民の健康に対する意識を高め、地域の健康増進活動を活性化し、長寿を楽しめるまちづくりに取り組みます。



(安心できる医療体制の充実)

○自らの健康について日常的に相談できる「かかりつけ医」等を持ち、区民が安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。



序論
構基本
計基本
I
II
III
IV
V
VI
重点 テーマ
緑 区
中央 区
南 区
資付 料属

安全・安心をみんなで創っている

■取組の方向Ⅲ－1

一人ひとりが災害に備えるよう取り組みます

【防災】

いつ、どこで起こるかわからない災害に備えるため、区民一人ひとりが自身の安全を確保する「自助」のための具体的な行動ができるよう取り組みます。

また、「自助」とともに、地域コミュニティや災害ボランティアなどによる「共助」、行政による「公助」のバランスが取れた防災対策を推進することで、被害を最小限に抑える「災害に強いまちづくり」に取り組みます。

【重点的な取組】

（地域防災力の向上）

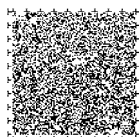
◎大規模災害に備え、自助・共助の取組の重要性など区民の防災意識を高めるとともに、自主防災組織の活動に対する支援等により、地域防災力の向上を図ります。

※◎は区役所が中心となって行う取組

（取組の方向とSDGsの関連）



防災訓練の様子（清新地区）



取組の方向Ⅲ－２

事故や犯罪ゼロを目標に取り組みます

【交通安全、防犯、空き家】

地域や関係団体、警察と区役所の相互の連携を強化し、地域における子どもや高齢者などに対する啓発活動を推進し、区民自身の「自分たちの安全は自分たちで守る」という意識の向上を図ります。また、今後も増えていく空き家などの適正管理や利活用に向けた取組を進めます。

【重点的な取組】

(交通事故防止対策の推進)

◎交通ルールや事故防止のための具体的な対策の周知など区民の意識を高めるための啓発活動や、家庭や地域などでの交通安全教育の充実に取り組みます。

(取組の方向と SDGs の関連)



(犯罪の未然防止)

◎地域や警察と区役所との連携により、自転車の盗難や特殊詐欺等の犯罪を未然に防ぐための取組を行います。



(空き家の適正な対策)

◎空き家などの適正管理への関心を高めるための意識啓発とともに、空き家などの利活用について地域と連携し、協働して取り組みます。



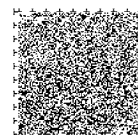
※◎は区役所が中心となって行う取組



振り込め詐欺撲滅キャンペーン



スケアード・ストレイト (相模田名高校)



序論

構基本

計基本

I

II

III

IV

V

VI

重点
テーマ

緑区

中央区

南区

資料
付属

魅力と活力にあふれ、にぎわっている

■取組の方向Ⅳ－１

人が集い、にぎわいがあふれるよう取り組みます

【商業、観光、農業】

圏央道、リニア中央新幹線など充実した交通環境の強みを生かし、商業振興による市街地のにぎわい創出や、区の魅力の発信によって区内外から人が集う、にぎわいがあふれるまちづくりに取り組みます。

また、区民が中央区の農業を身近に感じ、地場農産物を味わうことができる機会の創出に向けた取組を行います。

【重点的な取組】

(商業振興によるにぎわいづくり)

◎地域性を生かした商店街などの活性化や地域との連携により、人が集まり、にぎわいあるまちづくりに取り組みます。

(取組の方向と SDGs の関連)



(観光資源などを活用した魅力の発信)

○観光に資する施設や身近な自然環境などの地域資源を活用し、圏央道をはじめとした交通環境の良さを含めた区の魅力を区内外へ情報発信します。



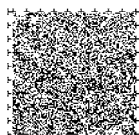
(農業を身近に感じられるまちづくり)

○地産地消の推進等により都市農業の振興を図ることで、区民が農業を身近に感じられるまちづくりに取り組みます。

※◎は区役所が中心となって行う取組



市民農業まつり



■取組の方向Ⅳ－２

暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます

【基地返還、拠点形成、道路、交通】

相模総合補給廠の早期全面返還及び米軍機による騒音の解消への働きかけを継続しながら、相模総合補給廠一部返還地における新たなまちづくり、小田急多摩線の延伸計画に加え、隣接する橋本地区へのリニア中央新幹線の駅設置予定等を見据えたまちづくりなどにより、未来につながるまちづくりを進めます。また、交通環境のバリアフリー化やコミュニティバスの維持・確保などによる利便性の向上により、暮らしやすいまちづくりを推進します。

【重点的な取組】

(相模総合補給廠の早期返還)

- 区民と行政が一体となり、相模総合補給廠の早期全面返還及び米軍機による騒音の解消に向けて取り組みます。

(取組の方向と SDGs の関連)



(相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり)

- 暫定的な活用も含めた相模総合補給廠一部返還地をはじめ、小田急多摩線の延伸や隣接する橋本地区へのリニア中央新幹線の駅設置予定を見据えたまちづくり等により、にぎわいの拠点づくりを進めます。



(道路環境の向上)

- 自転車通行環境の整備や道路の拡幅整備、バリアフリー化の推進など、道路環境の向上に取り組みます。



(地域公共交通網の構築)

- 小田急多摩線延伸の促進、コミュニティバスの維持・確保など、地域公共交通網の構築を利便性に配慮しながら進めます。



市道相模淵野辺線の自転車レーン（大野北地区）



序論

構基本

計基本

I

II

III

IV

V

VI

重点
テーマ

緑区

中央区

南区

資料
附属

■取組の方向Ⅳ－3

誰もが桜や JAXA、大学など地域の魅力を語れるよう 取り組みます

【文化、スポーツ、国際化】

区民が桜や宇宙航空研究開発機構（JAXA）、大学などの地域の魅力に触れて、実感することで、シックプライドを醸成し、その魅力を区民一人ひとりが広く発信できるような取組を行います。また、こうした中央区の魅力を積極的に発信することにより、人々が集い、様々な出会いと交流が生まれ、新たな魅力を生み、多様な人々が参画するまちづくりを推進します。

【重点的な取組】

（文化が薫り、誇りを持てるまちづくり）

○区民一人ひとりが地域文化の担い手となり、地域文化の継承と発展・創造に取り組むことで、魅力を感じ、誇りを持てるまちづくりを進めます。

（取組の方向と SDGs の関連）



（スポーツを楽しめる環境づくり）

○スポーツ活動の支援、スポーツ施設の整備等により生涯を通じてスポーツを気軽に楽しめる環境をつくり、スポーツを通じた人々の交流の場の創出に取り組みます。



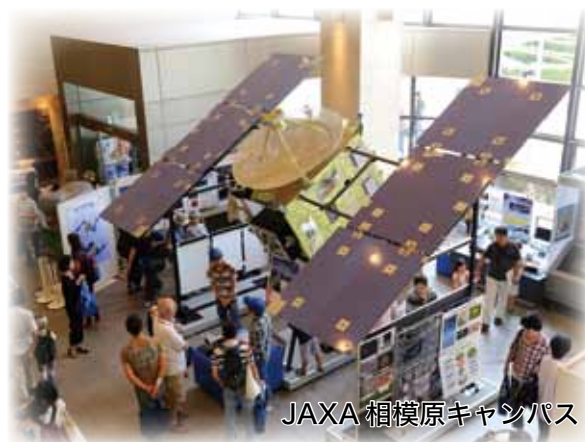
（多文化共生の推進） ※取組の方向Ⅱ－2再掲

◎異なる文化や習慣を理解し、お互いを地域の仲間として尊重し合うことで、外国人も地域づくりに参画するまちづくりに取り組みます。

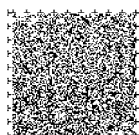
※◎は区役所が中心となる取組



小山公園ニュースポーツ広場



JAXA 相模原キャンパス



豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる

■取組の方向V-1

生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう 取り組みます

【環境保全、都市緑化、生物多様性】

身近な水やみどりに親しみ、その大切さを知ること、生物多様性を保全し、都市の自然を将来へと引き継げるよう取り組みます。

【重点的な取組】

(都市の自然を次世代につなげるまちづくり)

○水辺環境や緑地など身近な都市の自然を守り育て、次世代へつなげるよう取り組みます。

(取組の方向とSDGsの関連)



(生物多様性に配慮したまちづくり)

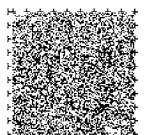
○生物多様性が保たれた、自然豊かなまちづくりに取り組みます。



相模線沿いの歩道



鹿沼公園



序論
構基本
計基本
I
II
III
IV
V
VI
テーマ重点
緑区
中央区
南区
資料属

■取組の方向V-2

環境に配慮したライフスタイルへの転換に 取り組みます

【地球温暖化・廃棄物】

区民一人ひとりが、省エネルギーや4 Rなど環境に配慮したライフスタイルに転換できるよう取り組みます。

また、循環型社会・低炭素社会^{※6}の形成に向けた仕組みづくりに取り組みます。

【重点的な取組】

(環境に対する意識の向上)

◎環境意識を高め、環境に配慮したライフスタイルに転換するための環境学習事業や啓発活動に取り組みます。

(取組の方向とSDGsの関連)



(資源循環型の社会の推進)

◎無駄をなくし、ごみ出しルールを守るなど、4 Rを意識して、資源が循環するまちづくりに取り組みます。

※◎は区役所が中心となる取組



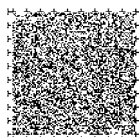
ごみゼロの日



さがみはら環境まつり

※6 【低炭素社会】

環境に配慮した生活様式や経済活動の実践、資源やエネルギーの再利用などに関する技術改革、自然環境の保全や再生による二酸化炭素の吸収源の確保などにより、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出が少ない社会。



わたしも、あなたも、誰もが輝いている

取組の方向VI-1

全ての区民が連携・協働できるよう取り組みます

【参加・協働、区政（分権）】

区民一人ひとりが地域活動に取り組みたくなるような環境をつくります。区民と行政が連携し、それぞれの強みを最大限に生かし、あらゆる世代が暮らしやすく、区の特徴を生かした魅力的なまちづくりを推進します。

【重点的な取組】

（多様な人々によるまちづくり）

◎区民一人ひとりが、それぞれの地域で活躍し、多様な力を生かして、あらゆる世代の人々とともにまちづくりを進められるよう支援します。

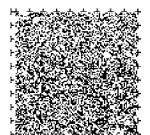
（取組の方向とSDGsの関連）



（区役所の果たすべき役割の強化）

◎区民を主体としたまちづくりを支援し、地域と行政の連携によるまちづくりに取り組みます。区役所がより一層役割を果たしていくため、区役所としての機能を高めます。

※◎は区役所が中心となって行う取組



- 序論
- 構基本
- 計基本
- I
- II
- III
- IV
- V
- VI
- 重点
- テーマ
- 緑区
- 中央区
- 南区
- 資料属

■取組の方向VI-2

新しい発想を活かし、持続可能なまちづくりに取り組みます

【行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント】

社会を取り巻く環境の変化に対応した、これまでとは違う新しい発想により、限られた資源、財源を効果的に活用した持続可能なまちづくりを推進します。

【重点的な取組】

(住民サービスの向上)

◎複雑・多様化する市民ニーズや地域が抱える課題に対応できる新しい発想を生かした行政サービスの提供に取り組みます。

(取組の方向とSDGsの関連)



(区民意見の聴取と情報発信)

◎区民に身近な区役所として、地域の声を市政・区政へ反映することに努めるとともに、地域の魅力や取組について、広く区内外に積極的に発信します。



(公共施設を最適な状態で維持管理していくための検討)

○社会の変化などにより、機能や配置の見直しを検討すべき公共施設については、より質の高いサービスを提供していくための方策を検討するとともに、その課題の解決を図ります。

※◎は区役所が中心となって行う取組



横山公園



中央区役所窓口



淵野辺駅南口再整備に係る市民検討会



清新公民館

